



小手中魂

所沢市立小手指中学校 校長 結城 尊弘 令和6年4月8日発行
【生徒数：1学年187名 2学年243名 3学年214名 8組11名 合計655名】

教育目標「主体的でたくましく生きる生徒」

合言葉「チーム小手中」とは
情熱・授業力・社会性を持ち、生徒を
第一に考える教師集団のこと



令和6年度 入学式式辞「主体的でたくましく生きる生徒」の育成を目指して！

校庭の木々も一斉に芽吹き、本校の桜も皆さんの入学を祝うかのようになり満開となりました。伝統ある小手指中学校に入学した191名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

さて、新しい制服に身を包んだ新入生の姿は、今、輝いて見えます。「中学校三年間をしっかりと頑張るぞ」との決意と、新たな出会いへの期待が表れているからだと思います。一日も早く中学校生活に慣れて、勉強に運動に充実した毎を送れるようになって下さい。

入学にあたり私から、新入生191名に三つの事をお願いします。

一つ目は、しっかり勉強して多くの知識と考える力を身に付け、自分で正しく判断し、行動できる人になって下さい。「知は力なり」と言われます。将来、夢を持った時に、その夢を実現するために、やればできるという自信を身につけることです。

二つ目は、自分を深く見つめるとともに、友だちや家族など周りの人たちのよいところをたくさん見つけ、思いやる心や感謝する心を持ち、何事にも素直に進んで協力できる人になってください。さらに、親孝行できる人になってください。心こそ大切なのです。

三つ目は、勉強や部活動等で、うまく行かないことがあったり、失敗したりしても、諦めずに粘り強く努力し、最後まで頑張りぬくことができる人になってください。私の好きな言葉に「私の人生の最大の誇りは、1度も失敗しなかったことではなく、失敗するたびに、立ち上がったことだ。どんなに八方ふさがりの状況でも、必ず突破口はある。」という言葉があります。何があっても、負けない・くじけない・へこたれないという負けじ魂、いわゆる、『小手中魂ここにあり』です。

この三つのことは、本校の学校教育目標「主体的でたくましく生きる生徒」の育成に通じるものです。このことを、皆さん一人一人が毎日の生活の中で心がけ、自分自身を高めていくとともに、二年生、三年生に協力して、今よりもっとすばらしい学校にしていって欲しいと思っています。

ここで保護者の皆様に一言お祝いを申し上げます。

「本日はお子様のご入学おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。」

本日より三年間、私たち教職員は大切なお子様の中学校教育に責任をもってあたらせて頂きます。次に、在校生のみなさんに申し上げます。皆さんにとっては始業式です。

本日の入学式を迎えるに当たり、新入生のために、学校をきれいにし、教室を飾り、体育館を整え、心温まる出会いの場をつくってくれました。本当にありがとうございました。皆さんは、新入生という新しい仲間が増えて、うれしさと同時に心の中には、先輩としての責任感ややる気がみなぎっていると思います。学習に、学校行事に部活動などに一生懸命取り組み、新入生に模範を示し、本校の校風や伝統をより一層発展させていってください。みなさんの活躍を期待しています。

結びに、御来賓の方々、保護者の皆様に、本校の教育に対する深いご理解と温かいご支援を心からお願い申し上げまして 式辞といたします。



小手中桜満開

【お願い】変化の大きい新学期。我が子の様子に気配り。「頑張ったね」等、肯定的な声掛けを！